

別紙様式5

令和6年度農業委員会の農地利用の最適化の推進の状況その他事務の実施状況の公表

都道府県名: 福岡県
 農業委員会名: 宮若市農業委員会

I 農業委員会の状況(令和6年4月1日現在)

※「I 農業委員会の現況」については、別紙様式1の内容を転記

1 農業委員会の現在の体制

任命・委嘱年月日	令和3年8月10日
----------	-----------

任期満了年月日	令和6年8月9日
---------	----------

	農業委員	
	定数	実数
農業委員数	14	13
認定農業者	—	0
認定農業者に準ずる者	—	0
女性	—	0
40代以下	—	0
中立委員	—	1

	定数	実数	担当区域数
農地利用最適化推進委員	15	15	46

2 農家・農地等の概要

	経営体数
総農家数	774
農業経営体数	647

※直近の「農林業センサス」又は
 「農業構造動態調査」に基づいて
 記入

	農業者数(人)
基幹的農業従事者数	639
女性	219
40代以下	144

※直近の「農林業センサス」又は
 「農業構造動態調査」に基づいて
 記入

	経営体数(経営体)
認定農業者	57
基本構想水準到達者	32
認定新規就農者	7
農業参入法人	12
集落営農経営	11
特定農業団体	0
集落営農組織	11

※農業委員会調べ

単位:ha

	田	畠				計
			普通畠	樹園地	牧草畠	
耕地面積	1,510	197	197	0	0	1,710

※直近の「耕地及び作付面積統計」に基づいて記入

II 最適化活動の実施状況

【農業委員会の実績及び点検・評価結果】

※ 「現状及び課題」及び「目標」については、別紙様式1の内容を転記

1 最適化活動の成果目標

(1) 農地の集積

① 現状及び課題

現状	管内の農地面積(A)	これまでの集積面積(B)		集積率(B)/(A)
	1,710 ha	625 ha	36.5 %	
課題	基盤整備されている農地については、地域の担い手等へ集積化が進んでいるが、未整備地区や中山間地区等の生産条件不利地域の農地については、今後も集積が困難な状況である。			

※1 農地面積は、直近の「耕地及び作付面積統計」における耕地面積を記入

※2 「農地の集積」は、経営局長通知の別表1に掲げる者への農地の集積をいう

※3 「集積面積」は、局長通知別表1に掲げる者へ集積された農地の面積をいう(以下同じ。)

② 目標

農地の集積の目標年度	令和6 年度	集積率	41.0 %
今年度の新規集積面積	5 ha	農地面積(C)	1,710 ha
今年度末の集積面積(累計)(D)	630 ha	(目標) 今年度末の集積率 (E)=(D)/(C)	36.8 %

※ 農地の集積の目標年度及び農地集積率には、設定した目標の根拠とした目標の目標年度及び当該目標年度における農地集積率を記入

③ 実績

今年度の新規集積面積	24 ha	農地面積(F)	1,710 ha
今年度末の集積面積(累計)(G)	649 ha	今年度末の集積率 (H)=(G)/(F)	38.0 %
目標に対する達成状況(H)/(E)	103.0 %		

農業委員会の点検結果	農業委員会の活動内容を周知し、市農政課及び委員が利用権設定の普及促進に積極的に取り組んだ結果、利用集積を図ることとなった。
------------	---

※1 今年度の新規集積面積は、当該年中の集積面積(フロー)を記入

※2 今年度末の集積面積(累計)は、年度末時点の集積面積(ストック)を記入

(2) 遊休農地の発生防止・解消

① 現状及び課題

現状	直近の利用状況調査により判明した遊休農地の状況		
	1号遊休農地面積	うち緑区分の遊休農地面積	うち黄区分の遊休農地面積
	12.0 ha	11.0 ha	2.0 ha
	遊休農地は、主に中山間地域に集中しており、イノシシやシカによる被害、所有者の高齢化等によることが理由であるため、借り手を探すことが困難な状況である。		

② 目標

ア 既存遊休農地の解消

a 緑区分の遊休農地の解消

令和3年度の利用状況調査における緑区分の遊休農地面積	10.7 ha
緑区分の遊休農地の解消目標面積(C)	1.0 ha

※ 緑区分の遊休農地の解消目標は、令和3年度の利用状況調査における緑区分の遊休農地面積の5分の1の面積を記入

b 黄区分の遊休農地の解消

令和3年度の利用状況調査における黄区分の遊休農地	1.5 ha
黄区分の遊休農地の解消のための工程表の策定方針	該当地の状況を再度調査し、基盤整備等に必要性を確認したうえで、対応が必要な農地については、県・市・農地中間管理機構等連携し、年次的な解消に向けて取り組む。

イ 新規発生遊休農地の解消

前年度に新規発生した緑区分の遊休農地の解消目標面積	- ha
---------------------------	------

③実績

ア 既存遊休農地の解消

a 緑区分の遊休農地の解消

今年度の緑区分の遊休農地の解消実績面積(D)	1.8 ha
今年度の目標に対する達成状況(D)/(C)	180.0 %

b 黄区分の遊休農地の解消

黄区分の遊休農地の解消に向けた工程表の策定状況	該当地の状況を再度調査し、対応の必要性を検討するなど、年次的な解消に向けて取り組む。
-------------------------	--

イ 新規発生遊休農地の解消

前年度に新規発生した緑区分の遊休農地の解消実績面積	- ha
---------------------------	------

④その他

農地の利用状況 調査	調査実施時期		調査結果取りまとめ時期	
	令和6年10月		令和6年11月～12月	
	1号遊休農地 の面積	16.9 ha	うち緑区分の遊休農地	10.0 ha
農地の利用意向 調査	調査実施時期		調査結果取りまとめ時期	
	令和6年11月		令和7年2月	
農業委員会の 点検結果	委員の日常のパトロール活動や、農業者への意向調査活動を進め、遊休農地の発生防止と 解消に 努めている。			

(3)新規参入の促進

①現状及び課題

現状	3年度新規参入者		4年度新規参入者		5年度新規参入者	
	0	経営体	1	経営体	0	経営体
	0	ha	1	ha	0	ha
課題	就農の相談はあるが、農地の確保、農業経営の不安定さから、新規参入者の確保が難しい。					

※ 現状欄は、直近3年度の新規参入した経営体数と当該経営体に集積した農地面積を記入

②目標

権利移動面積	3年度		4年度		5年度		平均
	17	ha	9	ha	10	ha	
新規参入者への貸付等について農地所有者の同意を得た上で公表する農地の面積(A)	1.2 ha						

※1 過去3年間の権利移動面積は、農地法(昭和27年法律第229号)第3条第1項に基づく許可及び農業経営基盤強化促進法第19条に基づき公告された農用地利用集積計画による権利移動面積(有償所有権移転(所有権に基づいて耕作の事業に供していたものに限る。)及び賃借権の設定並びに利用権の設定に限る。)を記入

※2 目標面積は、過去3年度の権利移動面積の平均の1割以上を記入

③実績

新規参入者への貸付等について農地所有者の同意を得た上で公表した農地の面積(B)	0.8 ha
公表URL	(その他の公表方法) 窓口対応
目標に対する達成状況(B)/(A)	66.7 %
(参考)新規参入者の参入状況	参入経営体数 2 経営体 取得農地面積 0.7 ha

農業委員会の点検結果	新規参入を促進し、高齢化の進む地域の担い手育成を進める必要がある。
------------	-----------------------------------

※ 参入経営体数は、農地を取得して新たに農業に参入した経営体数を記入

2 最適化活動の活動目標

(1)推進委員等が最適化活動を行う日数目標

1人当たりの活動日数	5 日／月	最適化活動を行う農業委員の人数	14 人
		農地利用最適化推進委員の人数	15 人

(2)活動強化月間の設定

①目標

活動強化月間の設定回数	1 回
-------------	-----

取組時期	取組項目	強化月間の内容
10～12月	②	8月に遊休農地調査を行った結果に基づき、利用意向調査対象の絞り込みや、早期対応として地域の寄り合い等を通じ、所有者等に働きかけを行う。

※1 取組項目欄は、①農地の集積、②遊休農地の発生防止・解消、③新規参入の促進のいずれかを記入

※2 強化月間の内容欄は、活動強化月間の具体的な取組の内容を記入

②実績

活動強化月間の設定回数	1 回
-------------	-----

取組時期	取組項目	強化月間の結果
10～12月	②	遊休農地・耕作放棄地の調査 農地の再生に向けた所有者・耕作者への調査、助言等

※ 強化月間の結果欄は、強化月間に行った具体的な取組の内容とその結果生じた効果等の内容を記入

(3)新規参入相談会への参加

①目標

新規参入相談会への参加回数	1回		
開催時期	12月	相談会名	就農相談会
参加者数	1名	開催場所	市内
相談会の内容	新規就農者の希望する作物や就農条件を聞き、農地情報の紹介やあっせんを行う。		
開催時期	0	相談会名	0
参加者数	0	開催場所	0
相談会の内容	0		

※1 新規参入相談会への参加回数欄は、推進委員等が1名以上参加する相談会の数を記入
(参加者数によらず、1名以上が参加する新規参入相談会ごとに1回とする)

※2 複数の新規参入相談会に参加する場合は、適宜、開催時期以下の欄を追加する

②実績

新規参入相談会への参加回数	0回		
開催時期		相談会名	
参加者数		開催場所	
相談会の内容			
開催時期		相談会名	
参加者数		開催場所	
相談会の内容			

※1 新規参入相談会への参加回数欄は、推進委員等が1名以上参加した相談会の数を記入
(参加者数によらず、1名以上が参加した新規参入相談会ごとに1回とする)

※2 複数の新規参入相談会に参加した場合は、適宜、開催時期以下の欄を追加する(評価点欄は追加しない)

目標の達成状況の評語

目標に対して期待どおりの結果が得られた

※ 別表に基づいて成果目標及び活動目標の各目標の達成状況に対する評語を記入

【推進委員等の点検・評価結果】

評語	推進委員等の人数
目標に対し期待を大幅に上回る結果が得られた	
目標に対し期待を上回る結果が得られた	29
目標に対して期待どおりの結果が得られた	
目標に対して期待を(やや)下回る結果となった	

※ 別表に基づいて成果目標及び活動目標の各目標の達成状況に対する評語ごとの該当する推進委員等の人数を記入